

五島列島～教会をめぐる旅



旧野首教会堂(世界遺産)



頭ヶ島天主堂(世界遺産・重文)

長崎県五島列島には江戸時代多くの潜伏キリシタンがおり、明治6年禁教令が解けると、それぞれの集落に自らの手で教会堂を建てはじめました。その数50余り。木造、レンガ造り、石造りなど構造、規模もさまざまながら、人々の暮らしにとけこみ自然と調和した姿はどれも美しい。そのうちの多くを設計したのが上五島出身の鉄川与助です。これらの教会群は2007年に世界遺産リストに登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」にも含まれています。

前回訪問できなかった教会や史跡を中心に、世界遺産登録に尽力された新上五島町教育委員会文化財課の高橋弘一さまの案内で、この五島の教会と自然、町並みを訪ねます。

- 日程** 2019年10月18日(金)～21日(月) 3泊3日
- 集合** 10月18日 午後11時博多港(集合場所の詳細については後日参加者にご案内します)
(福岡空港から博多港まで地下鉄+バスで約30分、あるいはJR博多駅からバスで約30分))
- 解散** 10月21日 午後4時3分 長崎港
(JR長崎駅へ路面電車で約10分、長崎空港への連絡バスあり)
- 訪問先** 上五島 旧野首教会堂(世界遺産)、奈留教会、江上天主堂、大平教会、有福教会など
赤尾の町並み、若松瀬戸周遊
現地ではジャンボタクシー等で移動します。
- 宿泊** 18日 フェリー太古(博多～福江) ツイン客室
19日 旅館前川荘
20日 リゾートホテルマルゲリータ
- 定員** 12名
- 参加費** 会員 85,000円
- 申し込み締切** 9月20日

認定特定非営利活動法人 アメニティ2000協会
事務局 西宮市北昭和町3-20 清水
TEL・FAX 0798-65-4303 携帯080-3138-4164 Email soshisha@f6.dion.ne.jp
URL <http://amenity2000.la.coocan.jp/>

主な訪問先

- * 旧野首教会(野崎島、世界遺産)
1908年築。鉄川與助設計。レンガ造り。わずか17戸の集落で基金をあつめて造ったといわれる。1971年に信徒がいなくなり、廃堂となった。現在野崎島は無人島で、ニホンジカが生息している。
- * 頭ヶ島天主堂(頭ヶ島、世界遺産・重要文化財)
1917年築。鉄川與助の設計による石造りの教会堂。近くに産する石材を信者が人力で運んで積み上げたという。
- * 江上天主堂(奈留島、世界遺産・重要文化財)
1918年築。鉄川與助設計。クリーム色の外壁や水色の窓枠がアクセントの、木造建築の素朴な教会。手描きの木目の柱や花の絵の窓ガラスに、信徒の苦勞の結晶が見られる。
- * 青砂ヶ浦教会(重要文化財)
1910年築。鉄川與助設計。レンガ造り。内外ともに意匠が優れ、日本人の手になる初期レンガ造キリスト教建築の代表的作品の一つである。
- * 奈留教会(奈留島、県指定有形文化財)
1961年築。白を基調にした洗練されたデザイン。敷地内にあるマリア像も美しい。
- * 鉄川与助
明治12年上五島町に大工の棟梁の子として生れる。20歳のころから教会建設に関わる。外国人宣教師から西洋建築の技術を学び、五島をはじめ九州各地に教会堂を建設した。その数は増築をふくめて28棟といわれ、ひとつとして同じデザインはないという。
- * 日島の石塔群(中通島)
中世から近世にかけての古墓群。70基以上の石塔が累々と並び風景は圧巻で、関西方面の御影石や福井県の若狭方面の日引石など島外から持ち込まれた石材が多く使われている。
- * 赤尾集落
明治以降砂岩質の五島石を使った石材業が発展し、長崎の坂道にも使われた。集落の民家でも壁の腰板に石材が多く使われている。
- * 旅館前川荘(若松島)
『銘竹の宿』というキャッチフレーズのとおり、竹を敷き詰めた廊下が美しい。
- * リゾートホテルマルゲリータ(中通島)
海をのぞむ高台にある29室のこじんまりしたホテル。半露天風呂は自家源泉の単純温泉。